

## イノベーションハブ構築支援事業報告会の詳細について

### <概要>

本報告会では、科学技術振興機構のイノベーションハブ構築支援事業において4つの国立研究開発法人が行っている活動を例に、研究分野開拓の進め方や産学官連携の進め方とそのノウハウを共有するとともに、研究機関において先進的な取組みを根付かせる手法等についてパネルディスカッションを行います。

### <プログラム詳細>

- (1) 日 時：平成31年4月24日(水) 13:00~17:30
- (2) 会 場：秋葉原コンベンションホール(秋葉原ダイビル2階)
- (3) 対 象 者：研究開発法人、大学、企業、公設試験研究機関、官公庁等において、新しい研究分野の開拓や産学官連携に取り組もうとする者
- (4) プログラム：

#### 【13:00~13:10 開会挨拶】

##### ・開会挨拶

松尾 泰樹 文部科学省 科学技術・学術政策局長  
白木澤 佳子 科学技術振興機構 理事

#### 【13:10~13:50 ハブ構築事例発表1】

##### ・情報統合型物質・材料開発イニシアティブ(MI<sup>2</sup>I)

発表者：伊藤 聡(物質・材料研究機構 統合型材料開発・情報基盤部門 情報統合型物質・材料研究拠点 拠点長)

拠点概要：材料科学にデータ科学及び計算科学を融合させた帰納的な材料探索手法「マテリアルズ・インフォマティクス(MI)」を実証し、物質・材料開発の効率化を目指す。国内外の研究者との研究ネットワークの構築、MIを駆動させるデータプラットフォームの構築、産業界への普及展開を図るコンソーシアムの運営等を実施。

キーワード：「材料開発期間の短縮・新材料の発見に向けたマテリアルズ・インフォマティクス」等

### 【13:50~14:30 ハブ構築事例発表2】

- ・高精度の予測に基づく予防医療の実現に向けた疾患ビッグデータ主導型イノベーションハブ

発表者：桜田 一洋（理化学研究所 科技ハブ産連本部 医科学イノベーションハブ推進プログラム 副プログラムディレクター）

拠点概要：人の状態に関する多様なデータを用い、数学と機械学習を活用して、状態を正確に把握・予測する新たな生命医学の手法を開発し、個別化予防医療の実現を目指す。医療データの解析技術、収集方法、セキュアな解析環境の構築、所内の取扱い規定の整備等を実施。

キーワード：「高精度の予測に基づく一人ひとりに合った予防医療と治療」 等

### 【14:30~14:40 休憩】

### 【14:40~15:20 ハブ構築事例発表3】

- ・太陽系フロンティア開拓による人類の生存圏・活動領域拡大に向けたオープンイノベーションハブ

発表者：久保田 孝（宇宙航空研究開発機構 宇宙探査イノベーションハブハブ長）

拠点概要：地上でも応用可能な技術テーマを設定し、これまで連携実績の無かった異分野・異業種との産学官連携を推進し、将来の月・火星探査に必要な技術の獲得を目指す。宇宙・地上のデュアルユースの共同研究システムの運営、企業が参加しやすい知財優遇制度の導入等を実施。

キーワード：「月での無人による有人拠点建設の実現に向けて」 等

### 【15:20~16:00 ハブ構築事例発表4】

- ・「攻め」の防災に向けた気象災害の能動的軽減を実現するイノベーションハブ

発表者：島村 誠（防災科学技術研究所 気象災害軽減イノベーションセンター センター長）

拠点概要：ニーズ主導の機動的な産学官連携を推進し、企業のBCP（業務継続計画）に役立つ情報の創出と地域や自治体が抱える防災課題の解決（地産地防）を目指す。企業やコンソーシアム会員との協働、

省庁を超えた多様な外部資金の獲得、契約・知財等のリエゾン機能の強化等を実施。

キーワード：「IoT を活用した地域防災システムの開発」 等

**【16:00～16:10 休憩】**

**【16:10～17:20 パネルディスカッション】**

- ・ 新たな研究開発手法・産学官連携手法の定着と発展に向けて

発表者：山口 栄一（京都大学大学院 総合生存学館（思修館） 教授）

**【17:20～17:30 閉会挨拶】**

- ・ 閉会挨拶

発表者：三島 良直（東京工業大学 名誉教授／イノベーションハブ構築支援事業評価委員長）